



グローバルな世界に生きている
駆け足・台湾5日間③

この巡礼の道を書き始めたのは12年前の2006年4月。毎週木曜に掲載し、この間、自分の都合で休んだことは1度もなかった。急性肺炎で入院した時も、酸素を吸いながらベッドの上で原稿を書いた。

が弱くなったのである。日本選手の健闘や表彰を見るとき涙が出る。戦争や弾圧など悪い面もあるが、私たちは間違はなくグローバルな世界に生きていると実感する。

台湾2日目、南の台湾第2の都市・高雄の少し北にある台南市で、オランダが1653年に建てた「赤崁楼(せつかんろう)」を初めて見た。そしてこの時初めてオランダが台湾南部を占領していた歴史を知る。17世紀前半はオランダ全盛時代。インドネシアをはじめ世界各地を植民地支配していたことは知っていたが、台湾にまで進出していたとは知らなかった。

オランダは日本が鎖国政策で世界との交流を断った

時、唯一、交
流のあった国
でもあり、ア
ジアへの進出
は驚くほどの
ことでもない
のだが、台湾
南部を短期間
占領していた
のは驚きで
あった。

日本との関
係も鎖国政策
の中で交流が
あったが、太
平洋戦争で日
本はオランダ
が植民地とし

ていたインドネシアを占領。
戦争の結果として戦後、イ
ンドネシアは独立する。オ
ランダはインドネシアを失
う結果となった。

そのため、戦後オランダ
には反日感情があり、天皇
がオランダを訪れた時もデ
モがあったことは歴史で
習った。私は4年前にオラ
ンダを訪れたが、もうそん
な雰囲気は全く感じなかつ
た。

話がそれだが、今回の台
湾の旅でもう1つグローバ
ルと感じたのは旅の3日
目、台東で山岳民族



本のカトリック教会の交流
会などで踊るのがバンブー
ダンス。

2人で長い2本の竹の両
端を握り、竹をぶつつける。
メロディーに合わせて竹の
間に第三者が足を入れる。
見た人も多いだらう。この
文化はフィリピンから台湾
にまで伝わっているのに驚
く。

他国への占領・侵略とい
う側面もあるが、改めてグ
ローバルな世界をこの台湾
の旅で感じさせられた。

そしてオリンピック・ス
ピードスケート女子団体追
い抜きで、スケート王国、
オランダを抜いて金メダル
に輝いた日本。巨人の国、

目、台東で山岳民族
の1つ、アミ族の踊り
を見た時である。

最後の我々観光客
との交流会で一緒に
なって「バンブーダン
ス」を踊らされた。今、
日本にはたくさん
のフィリピン人が住んで
いる。カトリック国か
ら来た彼女たちが日

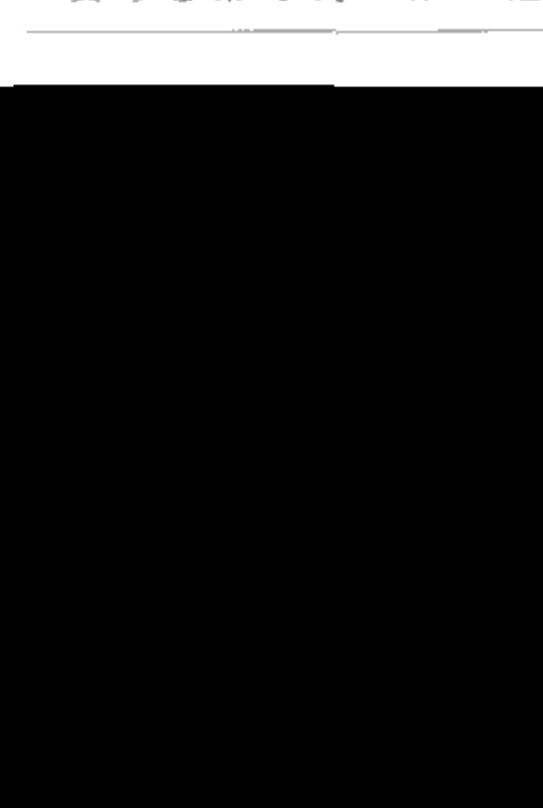
1位には言葉が出ないほど
感動を覚えた。スポーツの
世界は他国の競争相手を賞
賛するのが、実に清々しい。

台湾に残るオランダの建物

赤崁楼

赤崁楼

赤崁楼



赤崁楼

赤崁楼